



凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

浸水深が最大で50cm未満の区域
浸水深が最大で50cm～1m未満の区域
浸水深が最大で1m～2m未満の区域
浸水深が最大で2m～5m未満の区域
浸水深が最大で5m以上の区域

	対象区間
	市町村界
	国道
	県道

1) 説明文

(1) この浸水想定区域等は、平成23年7月時点牧川の河道状況を勘案して、新潟・福島豪雨により牧川が堤防破堤はん濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。

(2) なお、このシミュレーションの実施に当たっては、支川(水路)のはん濫、想定を超える降雨、能代川からの逆流はん濫、内水によるはん濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2) 基本事項等

(1) 作成主体	新潟県
(2) 対象となる河川	信濃川水系牧川(実施区間:五泉市榑林大橋から能代川合流点まで)
(3) 計画の基本となる降雨	流域全体に24時間総雨量298mm、ピーク時の1時間に54mmの降雨
(4) 関係市町村	五泉市
(5) その他計算条件等	

① この図は能代川合流点～榑林大橋区間で破堤した場合の浸水想定区域を图示しています。このため、榑林大橋上流区間がはん濫した場合の浸水状況は图示していません。

② はん濫計算は、対象区間を約50m格子(計算メッシュ)に分割して、これを1単位として計算したものです。

③ 浸水想定区域や等深線は、はん濫計算結果から各計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や地形図上の地形、連続盛土構造物(道路)を考慮して図化しています。

④ 能代川と牧川合流点から下流の能代川左岸の浸水エリアについては、牧川からはん濫した洪水が、支川(辻川、宮古川、後田川)を通じて能代川へ戻ることを考慮せず、これらの支川を超えてはん濫することを想定しています。

新潟県新潟地域振興局新津地域整備部 平成25年 3月

この地図は、五泉市長の承認を得て、同市発行の1/10000全図を複製したものである。

信濃川水系牧川浸水想定区域図

(承認番号)平成25年1月21日 五都第949号